



JAPAN INTERNATIONAL ARTISTS SOCIETY

ジァス

JIAS 日本国際美術家協会

入賞者インタビュー特集

2025年
臨時特集号



～目次～

- ・2025年臨時特集号 インタビューについて
- ・第37回パリ国際サロン 大賞インタビュー

- ・第25回日本・フランス現代美術世界展 大賞インタビュー
- ・ル・サロン2024 金賞受賞インタビュー
- ・JIAS会員紹介 都道府県別
- ・その他の活動報告 お知らせ

2025年JIAS臨時特集号 発刊に際して

～ 受賞者インタビュー特集 ～ 評価を励みに、更なる高みを目指して

作家の皆さまへ

優れたアート作品、それは、唯一といえる個性に到達したものです。このような優れた作品を日本から世界に発信することを念頭に、JIAS / 欧米の活動を進めています。そのような日々の中で、私どもは著名な作家、美術評論家、アートプロモータなど様々なアート関連のスペシャリストと意見を交換する機会に恵まれております。最近、より個性を発揮しやすいように、入賞のジャンル分けも工夫をしています。できるだけ審査結果や講評がわかりやすいことにも配慮させていただいています。アートは生き物です。古くからの伝統の技や匠も取り入れ、今しかない工夫を凝らし、個性へと昇華させてゆきます。その作家唯一価値ができるだけ反映されるように。

賞審査の結果は、公式ホームページや機関誌臨時特集号を通じて会員や作家の皆様に共有してまいります。受賞作家のインタビューでは、作家それぞれが、どのように人生でアートに取り組み、創作における個性的なプロセスを紹介してくださっています。経験・努力・人生そのものが語られていて、見る者にとっても、とても有意義なものになっています。

これらのインタビューや講評は、今後、入受賞やアート活動を進めていく上での、羅針盤になるものと思われまます。作品の方向性は異なっても、自分以外の作家がどのように創作活動を行っているかを知ることは、作家にとって必ずや個々人の成功へつながるはずです。

本特集が、皆さまのさらなる創作活動、唯一無二の作品創作への衝動となれば幸いです。本紙面で紹介できなかった内容含め、関連 WEB や SNS などでご紹介してまいる所存です。あわせてご覧ください。



馬郡 文平

JIAS日本国際美術家協会代表
欧州美術クラブ代表

オンラインでも様々な形式で入賞作家を掲載

大賞受賞者、およびNEPU代表作家などへのインタビューはホームページでも公開。各展覧会報告ページでは全ての入賞作品を紹介しています。本紙面にて紹介しきれなかった入賞作家・優秀賞インタビュー等はSNSにて順次発信する予定です。



JIAS 日本国際美術家協会



JIAS は欧州美術クラブの世界美術文化交流並びに啓蒙運動の象徴体として 1981 年 1 月 1 日に発足した非営利団体です。JIAS 会員及び JIAS 関連展覧会は、絵画・書・工芸のジャンルに留まらず、国際的視点を持ち、個性的・独創的に活動続ける多様な作家を幅広く対等に受け入れています。我々 JIAS は単なる画一的な集団ではなく、展覧会を通じた様々な国際的アート活動により、更なる世界的拡がり続けるべく前進し続けます。

第37回 パリ国際サロン 2024 大賞

大賞受賞インタビュー：渡部 昇 WATABE Noboru



大賞受賞作品 「Petit Palais」ダンボールにアクリル絵画 72.8 × 103.0

<大賞受賞について、率直な感想をお聞かせください>

少しモチーフは平凡かな？と感じていましたが、それが一昨年に続き、今回もまた大賞を頂けるとは思ってもいなかったの、驚きと嬉しさで一杯です！
ありがとうございました！

<受賞作品「Petit Palais」の制作時に特に工夫された点や気をつけた点があればお聞かせください>

パリ国際サロンのミニ個展の為、2019年初めてパリに行き、早朝セヌ川を散策した時に撮影した写真をモチーフにしました。重厚な建物と、ガラスに映り込んだ朝焼けのコントラストがとても印象的で、制作する際、モノトーンで如何に表現出来るか、ブラックとホワイトのバランスを意識し、特にガラスの部分は、ホワイトの濃淡に気を使いました。建物は、迫力ある構図にしたかったので、敢えて上部を切り取りました。また私の作品の特徴でもあるダンボールの波をどの部分にしようか？色々考えた結果、階段と地面に使用。階段は幅も上手い具合に合い、しっかり馴染んでいい感じになったかと思えます。



パリ国際サロン オープニング風景



ミニ個展部門作品を鑑賞するパリの来館者

<何故ダンボールを使って作品を作るようになったのかきっかけを教えてください>

40年程前、フリーのイラストレーターをしていた時、オリジナルの作風を模索していました。その頃、近所の工場にダンボールのシートがたくさん平積みされており、直感で「これに絵を描いたら面白そう！」と感じ、絵を描いたのがきっかけです。因みに、何度か公募展に出品しましたが、全て落選でした！

<上紙をはがす手法で作品に立体感が生まれていますが、この手法はどのようにして生まれたのですか？>

諸事情でしばらく絵を描いていませんでしたが、8年程にまた絵が描きたくなり、ダンボールの絵を再開！最初は上紙を剥がさずに描いていましたが、失敗した部分を修正しようと色々やっている時、たまたま上紙が剥がれ波の部分が露出！「これいいかも！」と意図的にカッターを入れ、剥がしたのが現在のスタイルの始まりです！この技法を使うようになって、それまでの作風から一気に幅が広がりました！

<特に研究や探究を続けていることはありますか？>

私の作品はNYがメインですが、全て自分で撮影した写真をモチーフにしています。観光写真のような場所なら、ネットで検索すれば幾らでもあります。私の場合、実際その場所に行かなければ気が付かないような、何かパッと感じる閃きを大事にしています。その為、地下鉄に乗り、裏通りなどを散策しながらアイデアの探究をしています。



ニューヨークの風景をバックに



制作のアトリエ風景

<近年の活動をお聞かせください>

大賞の副賞として頂いた、2025年8月開催の「第26回日本・フランス現代美術世界展2025」壁面8mの展示に向けて絵画4~5点と立体作品を同時進行で制作。全て新作！色々アイデアがあるので、1点でも多く制作出来ればと思います。



日本・フランス現代美術世界展エスパス・ブリヴェ部門で披露した立体作品



渡部 昇 プロフィール

<画歴>

- 2017~国内外様々な展覧会に出品
- 2021 パリ国際サロン ミニ個展部門出品
- 2021 スペイン美術賞展 ミニ個展部門、推薦部門出品
- 2022~2024 パリ国際サロン 受賞招待、ミニ個展部門出品
- 2023~2024 日本・フランス現代美術世界展エスパス・ブリヴェ出品
- 2024「NYアート公募展」準優秀賞 NYのギャラリーで展示

<受賞歴>

- 2016 三軌展 他様々な賞を受賞
- 2021 パリ国際サロン ギャラリー・デュ・マレ賞
- 2021 日本・フランス現代美術世界展 日仏賞
- 2021 スペイン美術賞展 優秀賞
- 2022 パリ国際サロン 大賞
- 2023 パリ国際サロン NEPU賞
- 2023 TOKYO世界展パリ 準大賞
- 2023・2024 日本・フランス現代美術世界展NEPU賞
- 2024 パリ国際サロン大賞
- 2024 日本・フランス現代美術世界展準大賞・ザッキ賞



インタビューは一部抜粋です
全文はホームページにて公開しています

第25回日本・フランス現代美術世界展 2024 大賞

大賞受賞インタビュー：藤守 可江



大賞受賞作品 藤守 可江「オオイヌタデと白むとき」透明水彩 112.0 × 162.0



日本・フランス現代美術世界展での展示風景



来場者で賑わう会場の国立新美術館 3A 3B 室

＜大賞受賞に際し＞

「国立新美術館」において私の作品が複数点展示され、多くの方の目に触れるという機会を得られたことは、それだけでもありがたいと思っていました。ましてや最高賞である大賞に選んでいただけるとは思ってもいませんでした。

＜受賞作品制作時に特に工夫された点や気をつけた点があればお聞かせください＞

大きく二つあります。一つは、まだ朝霧の残る夜明けの空気感を、色みを少なくして水墨画風に描いたらより一層「白む」という情景を強く表現できるのではと考えたこと。

二つ目は、画面構成「構図」で、風景型といわれるP型のサイズに水平視線(目の高さの水平線)の位置をどこにするかでした。オオイヌタデがまだ朝の明けきれない水面から湧き出たかのような神秘さと朝の静寂な湖面の雄大さを残しつつ、その上部の空気感も得られる位置にすること。普段は直感を信じるのですが、この時にはなかなか決めかねずにいました。そこで一般的に安心感と美しさを兼ねたとされる黄金分割(1:1.618)の比を、釣り船とイヌタデ群の水平部分を基準にした上下の比に使ってみました。これにより水平視線はやや上方になりましたが、それがかえって湖面のボリューム感をしっかりと確保させることができ、全体的に落ち着いた雰囲気になったのではないかと考えています。

＜この風景は実際に訪れた場所ですか?どのように描く風景を選ぶのでしょうか＞

自然の中で育ってきた私にとっては、季節の移り変わりや水のある景観はとても魅力的であり絵心がかき立てられる題材で、それらの多くが身近にある場所です。時には良き出会いを求めて遠出もしますが、すべて自分で取材した所です。そこで巡り合った感動や心地よい気持ちなど、心に響く情景をそのまま絵として表現したいという気持ちで取り組んでいます。

＜これから本展や海外公募展に挑戦される方へ、メッセージがあればお聞かせくださいの抱負など＞

各種の公募展に本格的に出品し始まったのは10年位前からでしたが、絵を描くことを職業とせずとも、自分の生活のリズムの中で楽しみながら絵を描く行為を続けてくると、自然と作品が沢山出来上がってきて、自分の技量をもっと高めようとか、作品をもっと多くの人に見てもらいたいという欲求がわいてきます。そのとき「ル・サロン」を含め海外の人の目にも触れる機会を与えていただいたのがJIAS、欧州美術クラブの公募展でした。特にこの「日本・フランス現代美術世界展」は、日本で開催されるにもかかわらず海外の作家と共に展示され、同じ空間で多くの人に見てもらえる場であることはとても貴重なことですし、「国立新美術館」という近代的な大きな美術館で臨場感を味わうことができることも魅力的だと感じています。

藤守 可江 プロフィール

＜画歴＞福島県在住。高校教員定年退職を機に油彩画から水彩画に変更。アート展示スペース「Gallery 可江」を2015年より福島県川俣町で運営、福島県美術家連盟会員、福島県東北美術家連盟理事・事務局、福島県美術協会幹事、福島県総合美術展委嘱

＜受賞歴＞

福島県総合美術展：美術大賞(2016)、県美術賞(2017)、斎藤清賞2回(2016,2017)、県美術館長賞(2019)、福島県美術協会展：美術協会賞(2017)、会友特選(2019) 会員推挙(2023)、上野の森美術館自然を描く展：優秀賞(2017)、全国公募ふるさとの風景展：準大賞(2018) アートオリンピック：佳作賞(2019)、ル・サロン：Mention(2020)、日本・フランス現代美術世界展：大賞・サッキ賞(2024)、その多 パリ国際サロン・ドローイング版画部門、コルシカ美術賞展、イタリア美術賞展出品等に出品



インタビューは一部抜粋です
全文はホームページにて公開しています

ル・サロン2024 (第234回) 金賞受賞 Medaille d'or

受賞インタビュー: 青山 繁 AOYAMA Shigeru



金賞受賞作品 青山 繁「ガラスのような水面に波の模様が、ポワッ」91.0 × 116.6 油彩



ル・サロン名誉会長ザッキ氏から金メダルを受け取る青山氏



グラン・パレ・エフェメールにて開催されたル・サロン

フランス芸術家協会主催「ル・サロン展2024」にて、青山繁氏が最高賞である金賞を受賞するという快挙を成し遂げました。長い実績と長い歴史をもつ世界最古のサロンからの評価は、国際作家として認められた証です。



＜金賞おめでとうございます。率直な感想をお聞かせください。またこの作品制作時に工夫された展があれば教えてください＞
とても嬉しく思います。
工夫した点は、錦鯉が尾びれを振って水中に潜っていく時の、波の盛り上がりを出すことです

＜2009年よりル・サロンに続けて出品をされています。最初にル・サロン展に出品しようと思われたきっかけは？＞

仕事で絵を描くのをしばらく休んでいたもので、45歳ごろからリベンジしようと思い、目標をル・サロンに絞った



2011年グラン・パレでの展示風景



会場でもひととき来場者の目を引く氏の作品

＜1つの作品ができるまでの手順を教えてください＞

まず魚が水を切って泳いでいる所を事前に頭に描いておく、電車で30分程度の西山公園に出向き写真を撮る、キャンパスにブルジャンブルーを1度塗り乾かし、2度目にサップグリーンを塗り乾かす、その後デッサンをする、最初に藻を描く、次に鯉を仕上げ、最後に水を描いています。

＜青山さんの1日のルーティンを教えてください＞

6時半ごろに起きる→15分ほど散歩する→9時ごろから制作を開始。制作に取り掛かると食事はしない→夕方になると制作をやめる。睡眠は11時ごろ。

＜制作に息詰まった時、気分転換には何をしていますか？＞

30分ほど電車に乗って、海に行つて、海を見たり、歩いて川に行つて水を眺めている

＜これから海外展や国際展に挑戦される作家様へ＞

1つの目標に向かって挑戦していただいたい

SALON		
MÉDAILLES ET PRIX PRIVÉS DÉcernés AU SALON DES ARTISTES FRANÇAIS		
Grand Palais - Etoile - Champ-de-Mars Paris du 14 au 18 février 2024		
MEDAILLE D'OR	MEDAILLES DE BRONZE	MEDAILLES D'ARGENT
CAUDET Robert	PEREZ Raul	TRUNG Thanh
MEDAILLE D'OR	TRUNG Thanh	TRUNG Thanh
AOYAMA Shigeru	TRUNG Thanh	TRUNG Thanh
AOYAMA Shigeru	TRUNG Thanh	TRUNG Thanh
VOITSEVICH Anatoli	ZHANG Ailan	
MEDAILLES D'OR	MEDAILLES D'ARGENT	PRIX PRIVÉS
AOYAMA Shigeru	CHINE GONGJI	Prix Yves Bouteiller
CLAUDINE MARTEL	OLGA ESCOBAR ROSA TORO	Prix Yves Bouteiller
GOUDILLON Marie	CHEN YI	Prix Yves Bouteiller
GOUDILLON Marie	CHEN YI	Prix Yves Bouteiller
GOUDILLON Marie	CHEN YI	Prix Yves Bouteiller



©photo Cosimo Mirco Magliocca

左) ル・サロンホームページ内での発表画像
上) 18世紀の審査投票風景

青山 繁 プロフィール

＜画歴＞ 福井県出身。新生美術展
2007 東方友好交流展(クアランブール)、2007～パリ国際サロン展 (パリ)
2007～日本・フランス現代美術世界展 (日本)
2009～ル・サロン展(パリ)
2015～サロン・ド・ドトーヌ展
2008～欧米国際公募美術賞展多数出品(スペイン、アメリカ、フランス、メキシコ、ポルトガル、ベルギー・オランダ、コロンビア等)

＜受賞歴＞

2009 ル・サロン展 (銅賞)
2011 第26回パリ国際サロン展 (大賞)、ル・サロン展 (銀賞)
2016 第48回コロンビア美術賞展 (大賞)
2021 スペイン美術賞展 (大賞)
2024 パリ国際サロン (NEPU賞)
2024 ル・サロン金賞
その他受賞多数



インタビューは一部抜粋です
全文はホームページにて公開しています

フランス芸術家協会(ル・サロン)会員、JIAS日本国際美術家協会会員
新エコールパリ浮世・絵美術家協会東京本部創立会員

JIAS 会員紹介 都道府県別

日本全国津々、会員は約200名を数えます。公式ホームページでは、作品画像付きで会員名簿を掲載。
 展示会場やJIAS総会などを介し、会員間、アーティスト間の繋がりを広げ、さらに交流を深めていただけましたら幸いです。
 公式ホームページ：<https://www.objjias.co.jp/jias/>



杏樹 北海道
 来生 亜子 北海道
 村上 里紗 北海道
 瀬野 あや 北海道
 石澤 暁夫 青森県
 青木 久美 岩手県
 藤澤 秀太郎 岩手県
 熊谷 睦男 岩手県
 米谷 易寿子 岩手県
 二宮 柊子 岩手県
 根田 穂美子 秋田県
 田村 康夫 秋田県
 筒井 義明 秋田県
 渡辺 順子 山形県
 蛭田 憲一 福島県
 大波 天久 福島県
 別府 忠雄 茨城県
 中野 瑞枝 茨城県
 芳賀 昭 栃木県
 中村 賢二 栃木県
 根岸 君子 栃木県
 杉本 美知子 群馬県
 新井 三郎 埼玉県
 河野 美茜 埼玉県
 河内 美穂 埼玉県

倉田 タカユキ 埼玉県
 松澤 恵子 埼玉県
 中山 久乃 埼玉県
 大久保 信子 埼玉県
 竹中 桂子 埼玉県
 竹中 義彰 埼玉県
 吉田 有美子 埼玉県
 石井 涼 千葉県
 牧山 勝美 千葉県
 中平 楽夢 千葉県
 大野 興風 千葉県
 大和田 明代 千葉県
 白沢 清 千葉県
 Yoshie 千葉県
 阿部 朱華羅 東京都
 安藤 愛実 東京都
 在原 億 東京都
 出町 千鶴子 東京都
 風らい坊 東京都
 元心 東京都
 五島 アサミ 東京都
 早川 ふみ代 東京都
 葉山 澄子 東京都
 林 朋香 東京都
 HIRATA Tatsuya (BOSCO) 東京都

堀口 康弘 東京都
 井出 和之 東京都
 今井 みどり 東京都
 石田 正道 東京都
 石井 恵童 東京都
 岩瀬 恵美子 東京都
 K. Rino 東京都
 亀島 利子 東京都
 岸 甫 東京都
 小林 翔己 東京都
 河野 正子 東京都
 小屋 夢櫻 東京都
 前田 陽子 東京都
 三橋 直之 東京都
 永瀬 ひとみ 東京都
 中村 マヤ 東京都
 野川 葵 東京都
 小野 蓮月 東京都
 太田 士朗 東京都
 大竹 和香子 東京都
 四釜 史江 東京都
 島野 栄子 東京都
 清水 美奈子 東京都
 杉浦 美代子 東京都
 鈴木 絢子 東京都

鈴木 美登里 東京都
 TAGO 颯 東京都
 高橋 文子 東京都
 高橋 美香子 東京都
 高梨 敬子 東京都
 田代 浩子 東京都
 富美 七朗 東京都
 津江 三千子 東京都
 宇野 和子 東京都
 渡辺 白游 東京都
 山田 卓 東京都
 吉田 政巳 東京都
 吉田 幸子 東京都
 吉岡 徹 東京都
 安 東淑 神奈川県
 船田 春光 神奈川県
 宝閣 和子 神奈川県
 加藤 篤弘 神奈川県
 鹿山 日登美 神奈川県
 木村 凜 神奈川県
 成田 雅子 神奈川県
 大和田 いずみ 神奈川県
 さかもと 未明 神奈川県
 佐藤 穎 神奈川県
 佐藤 紀子 神奈川県

丹波 宏之 神奈川県
 谷合 弥代美 神奈川県
 吉村 忠司 神奈川県
 片野 栄子 新潟県
 中地 高子 新潟県
 河崎 春代 石川県
 青山 繁 福井県
 桑原 知教 山梨県
 渡辺 勝俊 山梨県
 池本 孝 長野県
 奥田 雪月湖 長野県
 志賀 勇司 長野県
 川島 正行 岐阜県
 宮向井 勇 岐阜県
 横山 弥生 岐阜県
 べい 米翔 静岡県
 加藤 由利子 静岡県
 清水 朱舟 静岡県
 杉本 秀子 静岡県
 山河 宝生 静岡県
 浅井 禾泉 愛知県
 林 陽子 愛知県
 梶 浩二 愛知県
 幸村 泰子 愛知県
 坂本 レイコ 愛知県

高嶋 公康 愛知県
 吉橋 洋子 愛知県
 森川 真理子 三重県
 藤崎 世佑子 滋賀県
 永谷 彰朗 滋賀県
 石田 和子 京都府
 松田 彩子 京都府
 小野 功夫 京都府
 太田 りかこ 京都府
 瀬野 清 京都府
 鈴木 虚中 京都府
 乾 順久 大阪府
 萩尾 浩幸 大阪府
 東野 穂澄 大阪府
 北村 良太 大阪府
 Kyoko Baaba 大阪府
 中屋敷 雅也 大阪府
 大内 健一 大阪府
 佐々木 玲子 大阪府
 塩江 義宏 大阪府
 伴 直子 兵庫県
 小村 順 兵庫県
 中野 昇二郎 兵庫県
 小畑 敦子 兵庫県

津田 みちる 兵庫県
 安原 智代呼 兵庫県
 岩谷 富男 奈良県
 宮西 孝二郎 奈良県
 門永 哲郎 鳥取県
 梶田 幹穂 島根県
 陶山 広之 島根県
 大羽 裕也 岡山県
 手島 規子 岡山県
 畠山 法子 広島県
 児玉 伸子 広島県
 久間 祐子 広島県
 篠原 文子 広島県
 外山 昇 広島県
 みやざき すうじ 山口県
 保田 昌子 山口県
 楨本 良平 徳島県
 杉脇 史彩 愛媛県
 池田 正昭 福岡県
 伊藤 玉苑 福岡県
 岩本 依子 福岡県
 城 英巳 福岡県
 栗原 光峯 福岡県

桑名 涼苑 福岡県
 宮本 慶子 福岡県
 森 修 福岡県
 中村 白蘭 福岡県
 小野原 桐花 福岡県
 太田 峡花 福岡県
 高橋 通泰 福岡県
 山川 彩仁 福岡県
 NINA OKADA 佐賀県
 鶴丸 滯子 佐賀県
 上田 久世 佐賀県
 1k2an 熊本県
 蔵本 朝美 熊本県
 吉井 悦志子 大分県
 阿万 孝司 宮崎県
 朱佳 宮崎県
 井口 直也 沖縄県
 運天 一恵 沖縄県
 與那嶺 幸也 沖縄県

191名 (2025.2.7 現在)

2025年 JIAS 新会員 ようこそ! JIAS へ

2025年 JIAS 会員に入会された新会員です。 (順不同)

2025.2.7 現在



杏樹
(北海道)



島野 栄子
(東京都)



外山 昇
(広島県)



野川 葵
(東京都)



丹波 宏之
(神奈川県)



NINA OKADA
(佐賀県)



山川 彩仁
(福岡県)



堀口 康弘
(東京都)



杉浦 美代子
(東京都)



林 朋香
(東京都)



森 修
(福岡県)



梶 浩二
(愛知県)



朱佳
(宮崎県)



鈴木 虚中
(京都府)



中村 白蘭
(福岡県)



大竹 和香子
(東京都)



桑名 涼苑
(福岡県)

JIAS 日本国際美術家協会名簿



JIAS 会員はホームページにて名簿を掲載しております。
 名簿内にご自身で運営のホームページ等のリンクを貼ることができますので、ご希望の方はお気軽に事務局までご連絡ください。



Facebook JIAS日本国際美術家協会



2024年 JIAS 総会報告



日時：2024年8月9日（金）
会場：国立新美術館 講堂

2024年8月9日（金）、国立新美術館内講堂にて、2024年度 JIAS 日本国際美術家協会（以下、JIAS）総会が開催された。今回、JIAS フランス側名誉会員のジャン・マリ・ザッキ氏も加わり、総勢 29 名が参列した。総会の議長には船田春光氏、副議長に別府忠雄氏が拍手をもって選出、承認された。

※次回総会について
2025年度 JIAS 定時総会は、8月上旬頃、日本・フランス現代美術世界展の開催時期にあわせての開催を予定しています。日時の詳細は6月頃、会員の皆さまへご連絡いたします。

会員個々の活動について

●会員個々の活動報告について

JIAS会員の個展やグループ展など、主催展以外の活動を JIAS ホームページ、Facebook などでも広報しています。個展やグループ展などのご予定がありましたら、お気軽に事務局までお伝えください。



※開催の2週間前までには事務局へハガキ・メール等でご連絡ください

2025年 JIAS 活動内容・予定

主な JIAS 関連の活動予定年間スケジュールです。展覧会開催時には、SNS やホームページを活用し、リアルな現地情報をお届け致します。会員各位の積極的な応募・参加をお待ちしております。

ル・サロン 2025（主催：フランス芸術家協会）

会期：2025年2月18日（火）～22日（土）
*2月18日（火）はベルニサージュ
会場：パリ市 グラン・パレ

第38回パリ国際サロン/ドローイング・版画コンクール

2025年3月27日（木）～30日（日）
会場：パリ市 バスティュー・デザイン・センター
ギャラリー・デュ・マレ

第26回日本・フランス現代美術世界展 2025

会期：2025年8月7日（木）～8月17日（日）
会場：東京・国立新美術館 3A・3B 展示室

応募締切 2025年5/14（水）

サロン・ドートヌ 2025（主催：サロン・ドートヌ協会）

会期：2025年10月頃
会場：パリ市 シャンゼリゼ通り特設会場

応募締切 2025年3/4（火）

ル・サロン 2026

会期：2026年2月頃
会場：パリ市 グラン・パレ

応募締切 2025年3/4（火）

◆規約ダウンロードについて

各展覧会の規約は、ホームページの資料請求後、ダウンロードが可能です。応募締切が過ぎていても、前年の規約を参考にできるので、ご興味のある展覧会は前年度規約をダウンロードいただき、ご参考にさせていただきます。

◆e-mailについて

規約ご希望の方はE-mailでも承っております。事務局までお気軽にご請求ください。

◆郵送での規約お届け削減について

2024年10月からの郵便料金高騰に伴い、新規の規約のお届けについて、これまで郵送でご案内していた方にも、E-mailでご案内させていただきます。応募申込方法も従来の郵送に加え、オンラインフォームの設置など、情勢にあわせ臨機応変に対応して参ります。皆さま、ご協力の程よろしくお願い致します。

その他 お知らせ

●東日本大震災被災地支援チャリティー
「陸前高田の絵の好きな子ども達へ画材を贈るプロジェクト」
2011年から活動しているこのプロジェクトは、引き続き皆さまのご支援をお待ちしていますご支援をお待ちしております。

【陸前高田の絵の好きな子どもたちに画材を送るプロジェクト】

銀行振込・郵便振替・現金書留にて受付しております

★銀行振込:

-みずほ銀行 日本橋支店 普)1634027 欧州美術クラブ
-三菱東京UFJ銀行 日本橋支店 普)0128429 欧州美術クラブ

★郵便振替:記号)10100 (番号)77876481 欧州美術クラブ

★現金書留:欧州美術クラブ

「陸前高田の絵の好きな子どもたちに画材を送るプロジェクト」係宛